

平成 20 年 11 月 26 日・全国町村長大会
鳩山由紀夫 民主党幹事長あいさつ

全国町村長大会にご列席のみなさん、ご苦勞様でございます。昨年から私ども民主党にもお声を掛けていただき、心から感謝申し上げます。

私は町村こそ日本そのものだと、そのように思っております。なぜならば町村長の皆様方こそ住民のお気持ちを一番理解しておられるからでございます。その町村が厳しい財政の中で立ちゆかなくなれば、日本も滅んでしまうことは目に見えていることでございます。私たちはだからこそ地方に真の意味での地域主権、権限と財源を戻してさしあげて、基本的にすべて、調整できるようなことは地方でできるような、そんな日本につくりかえて参りたい。いわゆる補完性の原理に基づいて、身近なものは身近なところですべて問題を解決できるような、そんな日本につくりかえていくことが必要であると思っております。

財政が厳しいという状況の中でやむなく合併を迫られる、そんな話はありません。そうではなくて権限と財源を戻してもらって、そこにふさわしい力というものを見いだしながら、決して押しつけ的な合併ではなく、皆様方が好んでどのような自治体をつくりあげていきたいか、町村のままなさりたいければそれでよし、お隣と合併したければそれもよし、皆様方の自発的な思いで皆様方が自分たちの力で、ほとんどのことが役割を果たすことができる、そんな世の中につくりかえていくことを民主党は望んでいるところでございます。まだまだ未熟でございますので、必ずしも皆様方のすべての思いを周知していないところもあろうかと思っておりますので、今後ご指導を願えればと思っております。

たぶん来年には皆様方の未来を決める、市町村の未来を決める衆議院の解散総選挙があろうかと思っております。その時に先ほどご提言をいただきました衆議院における定数削減は、民主党としてもしっかりとマニフェストの中に入れていきたいと思っております。

いろいろと厳しい状況の中で、皆様方が住民のために大変なご努力をされておられることに民主党としても敬意を表し、明日の日本を見いだしていくためにこれからも懸命にご努力されることを祈念申し上げてお祝いの挨拶といたします。